

ドイツのアビトゥア試験英語科目における「言語仲介」問題分析 —日本語教育での「言語仲介」導入のために—

脇田里子

要旨

2018年に発表されたCEFR補遺版は2001年のCEFRからいくつかの大きな変更点が見られる。例えば、学習者の自己評価表は、CEFR補遺版においては四つのコミュニケーションモード（「受容」、「産出」、「やりとり」、「言語仲介」）で捉えられている。四つ目の「言語仲介」はどのような言語活動を指すのだろうか。本稿では、ドイツNRW州におけるアビトゥア試験の英語科目に見られる「言語仲介」試験を分析することによって、「言語仲介」の特徴を示すことを目的とする。2017年から2020年における英語基礎コース「言語仲介」試験を分析した結果、①「言語仲介」の対象者に対して文書を書くこと、②扱うテーマの妥当性や試験問題の状況設定の真正性が高いこと、③英語による文書の構成や表現の知識を前提としていることがわかった。「言語仲介」試験は、単にドイツ語から英語に翻訳することよりも、「言語仲介」の対象者に対する説明が重視されている。

キーワード

CEFR補遺版、アビトゥア試験 (Abitur)、言語仲介 (Mediation)

1. 背景と目的

ヨーロッパ言語共通参照枠 (Common European Framework of Reference for Languages: CEFR) は2001年に欧州評議会外国語政策部門が発表した言語共通の学習・教育・評価のための枠組みで、欧州だけでなく、日本においても外国語学習に導入されてきている。2018年のCEFR補遺版 (CEFR Companion Volume with New Descriptors) では、Pre-A1レベルの新設の他、CEFRの能力記述尺度 (illustrative descriptors/scale) が拡充されるなど、大きく変更された。他にも、学習者の自己評価表であるヨーロッパ言語ポートフォリオ (ELP) において、CEFR 2001では5技能（「理解すること：聞くこと・読むこと」、「話すこと：やりとり・表現」、「書くこと」）であったが、CEFR補遺版 (2018) では四つのコミュニケーションモード（「受容 (Reception)」、「産出 (Production)」、「やりとり (Interaction)」、「言語仲介 (Mediation)」⁽¹⁾）で捉えられている。コミュニケーションモードの最後の「言語仲介」はCEFRで簡単に言及されていたが、それまで大きく取り上げられてこなかった。本稿ではこの「言語仲介」に着目する。CEFR補遺版 (2018) における「言語仲介」とはどのような言語活動を指すのだろうか。本稿では、この問いに対する解決方法の一つとして、ドイツのノルトライン・ヴェストファーレン (Nordrhein-Westfalen: NRW) 州のギムナジウム (Gymnasium: 主として、大学進学を目指した中等教育機関) のアビトゥア試験 (Abitur: 卒業試験兼一般大学入学資格試験) の英語科目「言語仲介」を分析する。なぜなら、アビトゥア試験はギムナジウムの卒業試験を兼ねており、英語科目において実施された「言語仲介」活動を評価する一つの方法にアビトゥア試験が該当すると考えるためである。本稿では、2017年から2020年における英語基礎コースの八つの試験問題を分析することによって、「言語仲介」の特徴を明らかにすることを目的とする。また、日本語教育にどのように応用可能なのか、考えたい。

本稿の構成は次の通りである。2. 「言語仲介」とは何か、3. ドイツ NRW 州アビトゥア試験の概要、4. 英語基礎コース「言語仲介」試験の分析、5. まとめである。

2. 「言語仲介」とは何か

CEFR において「言語仲介 (Mediation)」がどのように説明されてきたのか、時間を追ってみていく。まず、CEFR の草稿の段階 (1996 年、1998 年) では、言語は 4 つのコミュニケーションモード (「受容 (Reception)」、「産出 (Production)」、「やりとり (Interaction)」、「言語仲介 (Mediation)」)、日本語訳は筆者による) から捉えられていた (図 1)。図 1 は次のことを意味している。「受容」と「産出」は、話し言葉と書き言葉に分けられ、伝統的な 4 技能を指す。「やりとり」は「受容」と「産出」の両方を含むが、それらの部分の合計以上である。「言語仲介」は、「受容」と「産出」の両方に加えて、頻繁に、「やりとり」を含むものである (CEFR 補遺版, 2018, p. 32)。

次に、CEFR (2001) では図 1 のコミュニケーションモードは示されていないが、2.1.3 節において「言語仲介」の概念は次のように説明されている。

受容的なモードと産出的なモードの両方において、言語仲介の書き、及び／あるいは、口頭の活動は、どのような理由があっても、お互いに直接コミュニケーションをとることができない人たちの間のコミュニケーションを可能にする。翻訳や通訳、言い換え、要約、記録は、第三者が直接アクセスできない原文の (再) 定式化を第三者に提供する。既存のテキストを (再) 処理する言語仲介活動は、私たちの社会の通常の言語機能において重要な位置を占めている (CEFR, 2001, p. 14, 日本語訳は筆者による)。

ここでは、「言語仲介」として「翻訳、通訳、言い換え、要約、記録」がイメージされる。

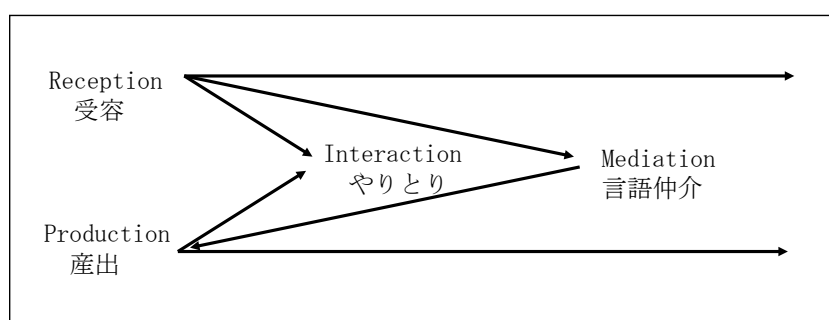


図 1 4 つのコミュニケーションモードの関係
(CEFR 補遺版, 2018, p. 32 図 2、日本語訳は筆者による)

そして、CEFR 補遺版 (2018) と CEFR 補遺版 (2020) ⁽²⁾ において、「言語仲介」は CEFR (2001) で提示されたものよりも幅広く捉えられている。「言語仲介」は次のように説明されている。

(言語仲介の) 利用者/学習者は、「橋」を作り、意味を構築したり、伝えたりすることを手助けする社会的仲介者として作用する。時には同じ言語内で、時にはモダリティを越えて(例えば、話し言葉から手話へ、またはその逆、クロスモーダル・コミュニケーション)、そして時には、ある言語から別の言語(言語間の仲介)において作用する。(言語仲介は) コミュニケーションや学習のための場や条件の創造、新しい意味の構築のための協働作業、新しい意味の理解を他者に促すこと、新しい情報を適切な形で伝える過程における言語の役割に焦点を当てている。文脈としては、社会的、教育学的、文化的、言語学的、専門的なものがあり得る(CEFR 補遺版, 2020, p. 90, 日本語訳は筆者による)。

ここでは、「言語仲介」は、他の言語へ仲介するだけでなく、同じ言語間でも起こりうること、新しい意味の構築や理解を他者に促すこととして、幅広く捉えられている。

また、CEFR 補遺版(2020)において、「言語仲介」は、「言語仲介活動」(「文章の仲介」、「概念の仲介」、「コミュニケーションの仲介」の三つに下位分類)と「言語仲介ストラテジー」(「新しい概念を説明するストラテジー」と「文章を単純化するストラテジー」の二

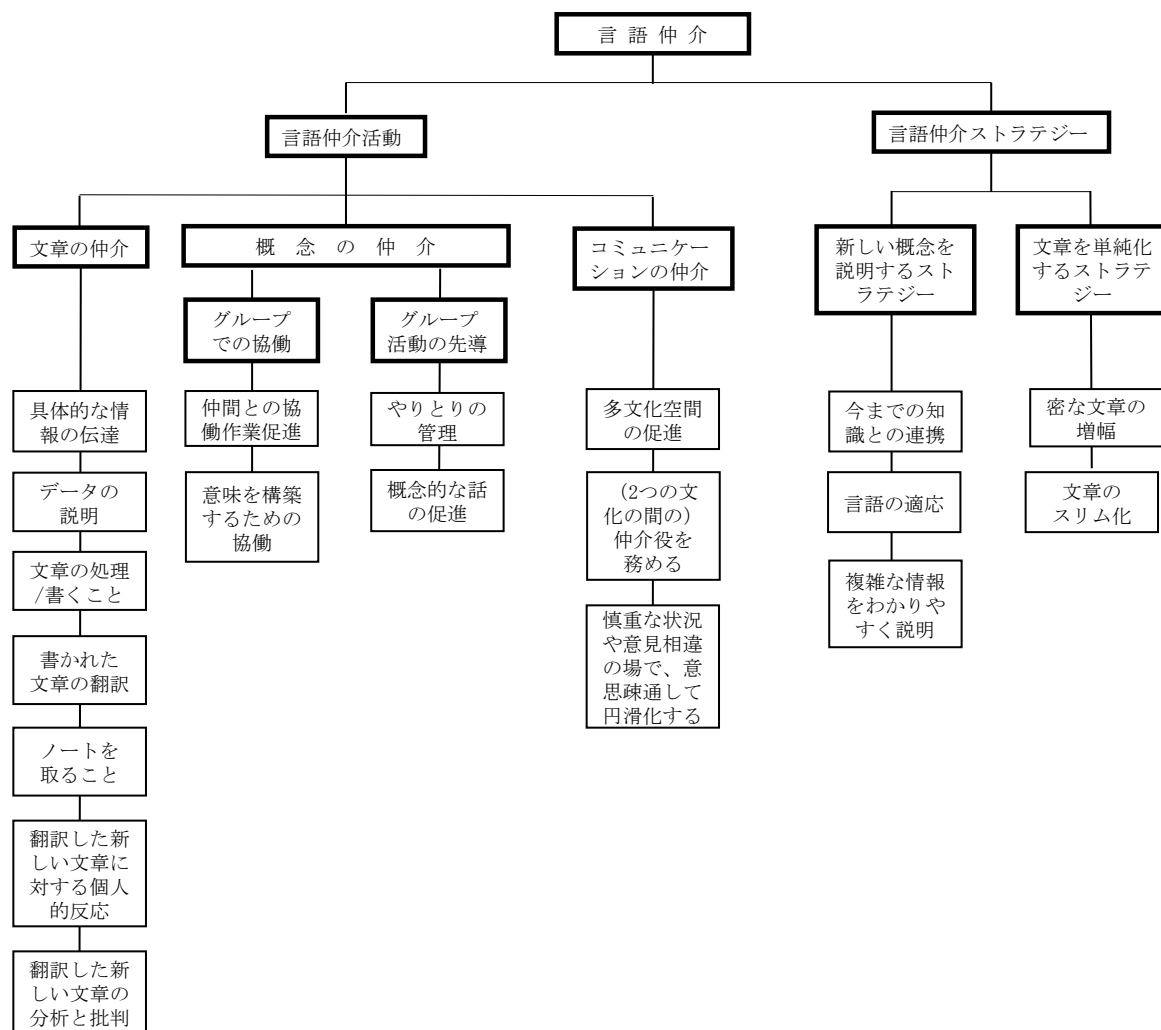


図2 「言語仲介活動」と「言語仲介ストラテジー」
(CEFR 補遺版, 2020, p. 90 図 14、日本語訳は筆者による)

つに下位分類)に分けられている(図2)。紙幅の都合上、さらに下位分類された一つ一つの要素の説明は割愛する。

3. ドイツ NRW 州アビトゥア試験の概要

3.1 ドイツのアビトゥア試験

連邦制のドイツは各州がそれぞれ独自に教育課程基準を定めている。しかし、2002年から、各学校教育段階修了学年の主要教科は、各州文部大臣会議(KMK)が策定した全国共通の教育スタンダードが設定されている(文科省, 2016)。後期中等教育(第10~12学年、または、第11~13学年)の修了段階の一般大学入学資格(アビトゥア)試験において、教育スタンダードが設定されているのは、ドイツ語、数学、応用外国語(英語、または、フランス語)⁽³⁾である。英語のアビトゥア試験は全国共通の教育スタンダードが設定されているが、ドイツ国内統一の試験ではなく、州内の統一試験である。

また、後期中等教育段階において、生徒はアビトゥア試験での受験科目(州により4科目または5科目)を考慮し、コース(重点コースか基礎コース)や教科を選択する。重点コースの科目は、州によるが、週4時間または週5時間ずつ選択する。基礎コースの科目は英語の場合、週3時間授業を受けることとなっている(文科省, 2016)。そのため、英語科目のアビトゥア試験は、ギムナジウムで重点コースと基礎コースのどちらを選択したかにより、試験時間や試験内容が異なっている。受講する科目の選択に当たっては、三つの定められた科目領域からの選択という条件はつくが、生徒が自分の関心のある科目を選択するだけでなく、それらの科目の重みづけも選択できる点は注目に値する。

3.2 NRW 州アビトゥア試験英語基礎コースの概要

以下、ドイツの STARK 出版社によるアビトゥア試験問題集から、NRW 州のアビトゥア試験、英語基礎コースの概要を述べる。筆記試験は4時間(試験問題を選択する30分の時間含まず)、口述試験1時間(準備時間30分を含む)である。筆記試験は論述形式で、全部で四つの問いに対して英語で解答する。筆記試験は「問題1」と「問題2」の2種類が用意されている。試験当日、受験生はどちらの問題を解くか、選択する。

筆記試験の配点は150点満点、パートA「読むことと書くこと」は105点、パートB「言語仲介」は45点である。パートAは、英語の文章を読んで「内容理解」「分析」「評価(コメント、または、テキストの再構成)」の三つの観点について、英語で論述する。試験問題に解答字数は明示されていない。しかし、過去問題集の解答例には150語~500語ほどで論述されている。なお、試験時に辞書の利用は認められている。

「問題1」と「問題2」の筆記試験の構成や問題ページ数はどちらも同じであるが、扱っているテーマが異なる。過去に実施された筆記試験は次のように構成されている。解答すべき問いは、下記の「③問題指示文」の1.~4.の四つである。内容に関する配点は問いごとに配点が設定されているが、言語スキルに関する配点はパートごとに全体の配点が決められており、内容よりも高い配点になっている。

パートA「読むことと書くこと」(配点105点:内容42点、言語63点)

- ①文章の種類(ノンフィクション、文学的文章など)
- ②試験の内容(政治的・社会的・文化的な現実、ユートピアとディストピアなど)
- ③問題指示文[英語による]

1. 「内容理解」(内容 42 点のうち 12 点)
2. 「分析」(内容 42 点のうち 16 点)
3. 「評価」(3.1 と 3.2 の二つから一つを選択する。)(内容 42 点のうち 14 点)
 - 3.1 「評価:コメント」
 - 3.2 「評価:テキストの再構成」

④問題文 [420 語前後の英語による]

パート B 「言語仲介」(配点 45 点:内容 18 点、言語 27 点)

- ①文章の種類 (ノンフィクション、文学的文章など)
- ②試験の内容 (政治的・社会的・文化的な現実、ユートピアとディストピアなど)
- ③問題指示文 [50~80 語の英語による]
4. 「言語仲介」(内容 18 点)
- ④問題文 [320 語前後のドイツ語による]

4. 英語基礎コース「言語仲介」試験の分析

4.1 2020 年「問題 1」の「言語仲介」試験

「言語仲介」試験とはどのような試験だろうか。2020 年に実施された「問題 1」のパート B 「言語仲介」(日本語訳は筆者による)の試験問題(④「問題文」は要旨)を以下に述べる。また、参考までにその解答例(STARK, 2020)も示す。

- ①文章の種類: 事実文・実用文(雑誌記事)
- ②試験の内容: 若者の日常的な現実と将来の展望—ライフプラン、学習、トレーニング、国際的なキャリア: グローバル化した世界での学習と就労
- ③問題指示文 [英語による]

アメリカから来たあなたの友人は、仕事の世界での男女平等に関する学校のプロジェクトを行っています。彼女/彼はあなたにドイツの状況についての情報を求めてきました。サブリーナ・ディートリッヒがドイツの男女平等について述べていること、「少女の日」と「少年の日」がどのような状況変化を意味しているかについて、メールを書いてください。

出典サブリーナ・ディートリッヒ「(女性)消防士や(男性)教育者はドイツではそう多くない」

④問題文 (要旨)

若者が自分の性と無関係に、能力や興味に合った仕事を選べるように、ドイツでは 10 年以上前から「少女の日」と「少年の日」が設けられている。「少女の日」には女性が職業としてあまり選ばない技術・自然科学、研究・科学、情報技術、工学などの仕事内容が紹介されている。また、「少年の日」には男性に教育学、社会福祉、介護や看護などの仕事内容が紹介されている。この取り組みは、職業の機会均等や公平性に対する社会的認識を高め、ドイツの状況が不十分であることも認識させている。

例えば、育児や家事などの無給の仕事の多くは女性が担っている。未成年の子供がいる家庭で、男性のパートタイム労働者は 5.5%、女性は 67.8%である。これらの数値は男女間の賃金格差を明確に示している。また、同じ仕事でも女性の収入は男性よりも平均で 21%少ない。男性は低賃金であれば、仕事を引き受けたがらないため、低賃金の仕事は女性が引き受ける傾向がある。そこで、今、女性の新たな職業のロールモデルを示し、女性の職業をより良いものにする時が来ている。例えば、給料の高い MINT (数学・コンピュータサイエンス・自然科学・技術系の専門職)で女性が働くことが挙げられる。

「少女の日」を実施した結果、女子学生が視野を広げ、職業選択に役立っていると回答している。参加者の 21%は MINT で仕事に就くことを希望している。

[ドイツ語原文 331 語、日本語要旨は筆者による]

引用元 URL

Sabrina Dietrich, "Firefighter and educator - rather not in Germany", in:
Behörden Spiegel, May 2016, <https://initiated21.de/feuerwehrfrau-und-erzieher-in-deutschland-eher-nicht/>

<解答例（電子メールの文面）>

やあ、チャーリー

元気ですか。メールをありがとう。あなたは学校のプロジェクトに興味を持っているようです。ドイツの雇用市場における男女平等の状況がどのようなものか知りたいと思っていましたので、いくつか調べてみたところ、たまたま興味深い記事を見つけました。ここに最も重要な情報があります。

残念なことに、ドイツでは、女性は同じ仕事でも男性より 21%も低い収入を得ています。また、女性が選びがちな仕事は、一般的な男性の仕事よりも給料が低いのです。さらに悪いことに、子供の世話や家族が介護を必要としている場合、パートタイムで働くのはほとんどが女性です。このように、仕事の世界で男女平等を実現するには、まだまだ道のりが長いことがお分かりいただけると思います。

しかし、「少年の日」や「少女の日」を作り、自分のジェンダーがあまり選ばない仕事について知る機会を提供しています。例えば、少女は技術的な仕事や貿易について調べることが奨励されています。また、少年は社会的または教育的分野での仕事を発見することができます。これらの日は若者が自分の能力や興味に合った仕事を選べるようにすることを目的とし、社会における男女平等の意識を高めることにも役立っています。

このように、ドイツでは男女共同参画の達成には程遠いですが、改善のための対策は講じられています。この情報をあなたのプロジェクトに役立てていただければと思います。他に何かお役に立てることがあれば、私に知らせてください。

愛を込めて。 レナ

[英語 268 語、日本語訳は筆者による]

4.2 2017 年から 2020 年「言語仲介」試験問題の分析

2017 年から 2020 年の 4 年間に実施された NRW 州英語基礎コース「言語仲介」の問題文について述べる。表 1 は、試験問題の①「状況設定」のもと、受験者は②「誰／何に」対して、③「ドイツ語の資料」を読み、どの④「文書」を使って、英語で書くのかについて、筆者がまとめたものである。

「言語仲介」問題文を分析した結果、読解問題に解答する場合と比較して、次の三つの特徴が見られた。まず、一つ目は、異文化の「誰」に対して文章を書くのか、文章の読み手が明確に示されていることである。つまり、問題文の中で想定された外国の友人など、「言語仲介」の対象者が明示されている。次に、二つ目は、問題で扱っているテーマの妥当性や試験問題の状況設定の真正性が高いことが挙げられる。試験問題のテーマはドイツの社会問題（男女差別問題、人種差別問題、難民問題、AI 技術など）などを扱っている。これらの解決が難しい問題は社会人になっても考え続けるべき現代社会の問題であり、また、多くの国においても共通した問題でもある。そのため、受験者は当事者として取り組むことが想像しやすく、テーマの妥当性が高いと思われる。また、受験者が外国の友人などからドイツの事情について照会され、返信するなどの試験問題の状況設定は、実

際に起こり得る状況で、真正性も高いと言えよう。最後に、三つ目は、受験者が電子メールの返信を書くためには、必要なドイツ語の情報を英語に翻訳するだけでなく、英語による電子メール返信の構成（挨拶、受信内容確認、回答、終了時の挨拶）、そこで使用される語彙や表現を知っていることが前提となる。また、友人に電子メールを返信する場合、口語的表現の使用も期待される。このように、「言語仲介」試験は、異文化の対象者に対し、真正性や妥当性の高い状況設定の中で、ドイツ語の情報を読み取り、新しい概念を英語で説明するなどし、かつ、英語による文書の構成や表現の知識を前提としている。

次に、「言語仲介」試験は、図 2 に示した CEFR 補遺版「言語仲介」の尺度の何に該当するのかについて補足説明する⁽⁴⁾。まず、受験者は文章を用いているため、「言語仲介活動」の「文章の仲介」が該当する。また、外国人の友人はドイツの事情を知らないため、受験者は「言語仲介ストラテジー」の「新しい概念を説明するストラテジー」を用いている。そして、ドイツ語の資料の中から友人に必要な情報を選択し、必要に応じて文章を単純化して表現するため、「文章を単純化するストラテジー」も利用している。

表 1 2017 年～2020 年の「言語仲介」試験の問題

	① 状況設定	② 誰/何 に対して	③ ドイツ語の資料	④ 文書の種類 (英語による)
2020年試験 1	アメリカ人の友人は職場の男女平等のプロジェクトを行っており、ドイツの状況を知りたがっている。	アメリカ人の友人	ドイツの男女平等に関する雑誌記事	電子メール
2020年試験 2	あなたは多文化のWebサイトを運営する団体でインターンをしている。移民とジャーナリズムに関して投稿する。	多文化のWebサイト	ドイツの移民とジャーナリズムに関する記事	Webサイトへ投稿記事
2019年試験 1	英国系インド人の友人は移民の背景をもつ大学生を支援する会に参加しており、ドイツの状況を知りたがっている。	英国系インド人の友人	ドイツの移民の背景をもつ大学生に関するインタビュー記事	電子メール
2019年試験 2	カナダ人の友人が高校卒業後、ベルリンで1年間過ごすことを考えている。あなたはベルリンでの英語圏の人々の生活を紹介する。	カナダ人の友人	ベルリンでの英語圏の人々の生活について書かれた新聞記事	電子メール
2018年試験 1	アメリカ人の友人はヨーロッパの未成年難民に関するプロジェクトを行っており、あなたにドイツの情報を求めてきた。	アメリカ人の友人	ドイツの未成年難民に関する新聞記事	電子メール
2018年試験 2	アメリカ人の友人は「世界の仕事におけるロボット利用」に取り組んでいる。友人はドイツ企業におけるロボットの使用について質問してきた。	アメリカ人の友人	ドイツ企業のロボット使用に関する新聞記事	電子メール
2017年試験 1	アメリカ人の友人は大学での差別についてのプレゼンテーションに取り組んでいる。あなたはドイツの大学での差別について情報を提供する。	アメリカ人の友人	ドイツの大学での差別に関する新聞記事	電子メール
2017年試験 2	イギリスのパートナー校の雑誌でモバイル技術が若者ことばに与える影響について特集を組む。あなたはその特集記事において、ドイツの事情を知らせる。	イギリスのパートナー校の雑誌	モバイル技術がドイツの若者ことばに与える影響に関する新聞記事	雑誌の特集記事のレポート

5. まとめ

ドイツのアビトゥア試験の英語科目「言語仲介」を分析した結果、次の三つの特徴が得

られた。①異文化の「誰」に対して文章を書くのか、文章の読み手が明確に示されている。②扱うテーマの妥当性や試験問題の状況設定の真正性が高い。③必要な情報を単に英語で翻訳するだけでなく、新しい概念を説明するなどの「言語仲介」も行いつつ、英語による文書の構成や表現の知識を前提としている。つまり、「言語仲介」試験は、単にドイツ語の文章を英文に翻訳するのではなく、異文化の読み手に対し、新しい概念を説明するなどして英語で書くことがその大きな特徴と言える。

日本語教育において「言語仲介」のコミュニケーションモードを扱う際には、これらの三つの観点を考慮しながら導入することが期待される。日本語教育において「言語仲介」を導入する場合、例えば、次のような二つの状況設定が考えられるだろう。一つは、日本人の友人が日本語学習者に日本語学習者の国のテーマについて問い合わせを受ける。日本語学習者はそのテーマに関する資料（日本語学習者の母語）を読み、その問い合わせに日本語で回答する。もう一つは、日本語学習者の（日本以外の）友人が、日本語学習者に日本のテーマについて尋ねる。日本語学習者はそのテーマに関して日本語で書かれた資料を読む。そして、日本語学習者はその友人に、二人の間の共通の言語で、回答する。どちらの場合も、日本語学習者は日本語ともう一つの言語の二言語を駆使し、回答すべき相手がいることが特徴である。このような状況設定による「言語仲介」は、異文化の相手のために、日本語学習者が積極的に働きかけるため、異文化間コミュニケーションが促進される面もあるだろう。

本稿では、NRW 州の英語試験のみを分析の対象としたため、「言語仲介」について一般論を述べるには至っていない。今後はその他の「言語仲介」に関する試験、教科書、授業実践などにも対象データを拡大し、「言語仲介」について多角的に分析したい。

(脇田里子わきたりこ・同志社大学・oriko@cup.com)

注

1. “Mediation”（ドイツ語では“Sprachmittlung”）の日本語訳の定訳は見受けられない。本研究では松尾（2019）に倣い、「言語仲介」を用いる。投野・根岸編著（2020）では「媒介」を、吉島・大橋他訳編（2004）では「仲介、仲立ち」が充てられている。
2. CEFR 補遺版（2020）の前書きによると、CEFR 補遺版（2020）は利用者が使いやすい様に CEFR 補遺版（2018）の主要メッセージを提示したもので、全ての CEFR 能力記述尺度が含まれている。
3. 松尾（2019）によれば、応用外国語においては、第一外国語の教育スタンダードだけでなく、CEFR も重視されている。
4. ここでは「言語仲介」の尺度として、図 2 の上から 3 番目の階層の五つの尺度「文章の仲介」「概念の仲介」「コミュニケーションの仲介」「新しい概念を説明するストラテジー」「文章を単純化するストラテジー」に限定して述べる。

謝辞

本研究は科研費基盤研究(B)（課題番号 19H01269、研究代表者 村岡貴子）の助成を受けて行った研究の一部である。ドイツ語によるアビトゥア試験を日本語に翻訳するにあたり、同志社大学嘱託講師 Angela Niehaus 氏から助言と貴重な意見をいただき、ここに深

謝の意を表す。また、2019 年にドイツのギムナジウムを訪問した際、日本語教員の松尾馨氏からドイツの中等教育について、助言と貴重な意見をいただき、ここに深謝の意を表す。

参考文献

投野由紀夫・根岸雅史編著 (2020) 『教材・テスト作成のための CEFR-J リソースブック』大修館書店

松尾馨 (2019) 「ドイツの中等教育において CEFR の理念はどのように実現されているか」『2018 年 ICJLE 日本語教育国際研究大会／第 22 回 AJE ヨーロッパ日本語教育シンポジウム報告・発表論文集』, 151-161.

文部科学省 (2016) 『諸外国の初等中等教育』明石書店

吉島茂・大橋理枝他訳編 (2004) 『外国語教育Ⅱ 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』朝日出版社

Council of Europe (2001) *Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment*. <<https://rm.coe.int/1680459f97>> (2021 年 2 月 25 日閲覧)

Council of Europe (2018) *Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment: Companion Volume with New Descriptors*. <<https://rm.coe.int/cefr-companion-volume-with-new-descriptors-2018/1680787989>> (2021 年 2 月 25 日閲覧)

Council of Europe (2020) *Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment: Companion Volume*. <<https://rm.coe.int/common-european-framework-of-reference-for-languages-learning-teaching/16809ea0d4>> (2021 年 2 月 25 日閲覧)

STARK (2020) *2021 Abitur Gymnasium/Gesamtschule NRW - Englisch GK*. Stark Verlag